



令和3年7月29日

担当課	警防課
担当者	北野、有松
電話	428-0119
内線	8368

令和3年7月熱中症搬送者 150%増！ ～熱中症に注意しましょう～

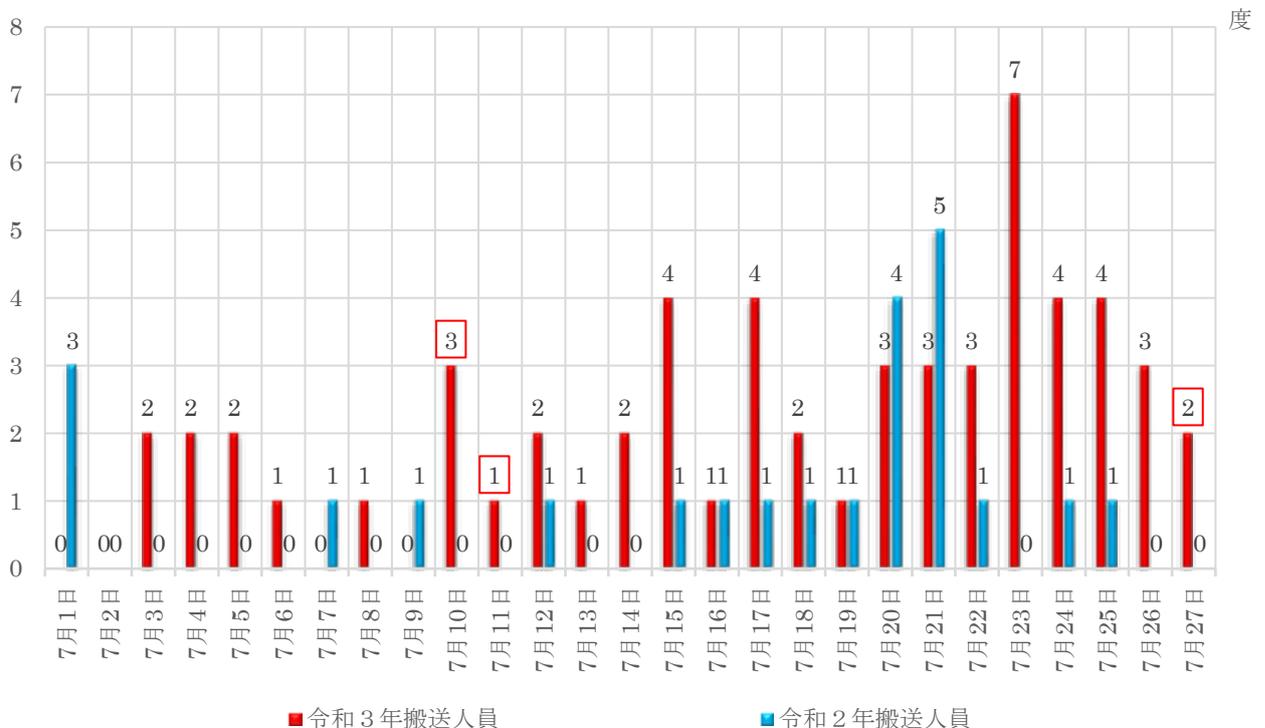
梅雨が明け、蒸し暑くなる7月頃から熱中症による救急搬送が多くなります。今年も新型コロナウイルスの影響により、マスクの着用や自宅で過ごすことが多い生活となっていますが、感染予防に配慮しながら熱中症対策をして、健康的な毎日を過ごしましょう。

○熱中症搬送人員の状況

和歌山市では、令和3年7月27日現在77人を搬送しており、昨年よりも26人増となっています。また、暑さ指数上昇と共に熱中症患者が増える傾向にあり、気象庁によると今年の夏は平年よりも高い気温になるようです。

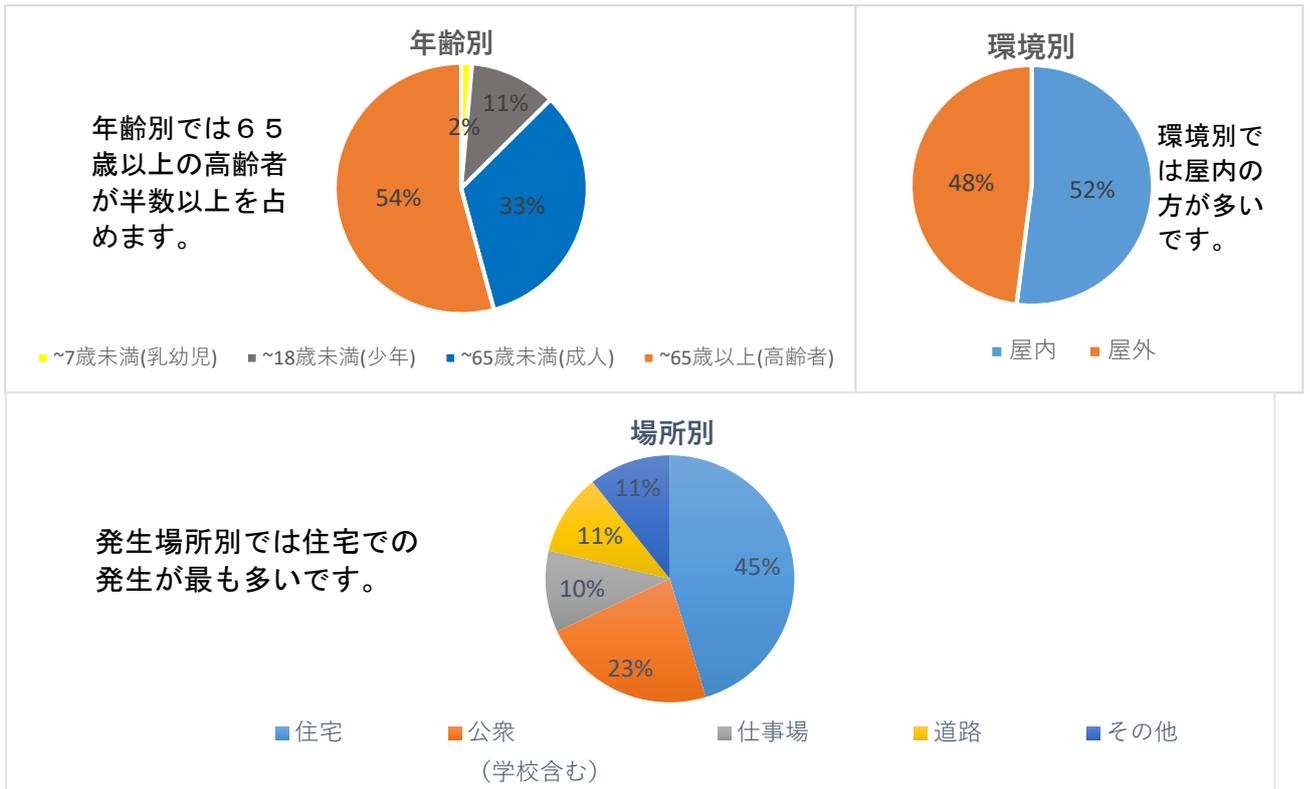
なお、令和2年中の熱中症による救急搬送は224人となっており、梅雨明け後の7月から件数が多くなります。

令和3年7月熱中症搬送者（150%増）



令和3年7月27日時点（7月分）搬送人員58件（150%増）
 令和2年7月27日時点（7月分）搬送人員23件
 ※熱中症アラート発令7月10日、11日、27日

○令和3年熱中症の発生状況



○熱中症予防とコロナ感染防止

マスク着用により、熱中症のリスクが高まります。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症対策」とマスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

- 1 屋外で人との距離が十分（2m以上）離れているときはマスクを外しましょう
- 2 マスク着用時は、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給しましょう。

○熱中警戒アラート発表時は徹底した予防対策を

熱中症アラートは、熱中症の危険性が極めて高いと予想される日の前日夕方又は当日早朝に都道府県毎に発表されます。発表時は徹底した予防行動が必要です。

なお、和歌山県では7月10日、11日、27日にアラートが発令されています。

熱中症警戒アラート発表時は**徹底した予防行動**を！

エアコンを適切に使用しましょう

●昼夜問わずエアコン等を使用して温度調節をしましょう。

外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

●熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
●不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

●高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。

外での運動は、原則、中止/延期をしましょう

●身の回りの暑さ指数(WBGT)に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。

普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

●のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。(1日あたり1.2Lが目安)
●屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合は通気マスクをはずしましょう。
●涼しい服装にしましょう。

暑さ指数(WBGT)を確認しましょう

●熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
●不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

※環境省熱中症予防情報サイト: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

学校やイベントの管理者等においては現場に応じた対応策をあらかじめ定め、熱中症警戒アラート発表時には速やかに実行してください。